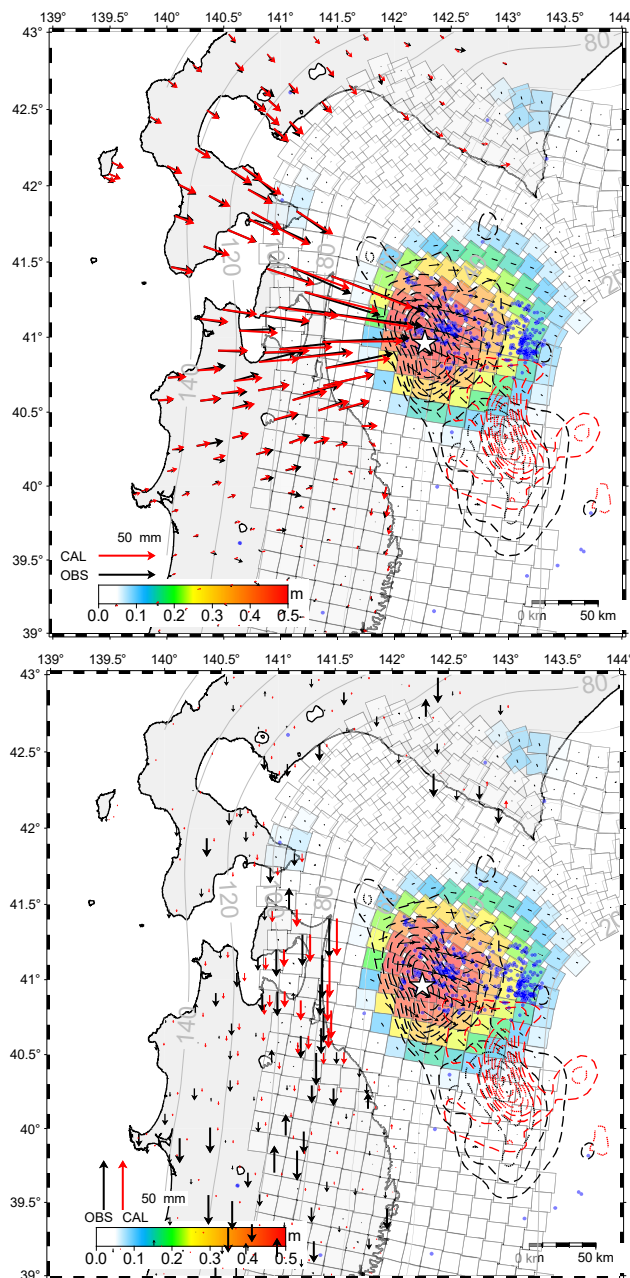


青森県東方沖の地震（12月8日 M7.5）のすべり分布モデル（暫定）

2025年12月8日に発生した青森県東方沖の地震について、電子基準点GNSS解析で得られた地殻変動をもとに、プレート境界面を小断層に分割したうえで地震時すべり分布を決定した。

- ・ 基準期間：2025年12月1日 09:00–2025年12月8日 21:00 JST（迅速（Q5）解）
- ・ 比較期間：2025年12月9日 00:00–2025年12月9日 08:59 JST（迅速（Q5）解）
- ・ 固定点：猿払（950101）



☆印は震央、青点は震源分布（気象庁自動震源；2025年12月8日23時15分～12月9日08時00分（JST））

- ・ プレート面（Kita et al. 2010; Nakajima and Hasegawa 2006）を15kmx15kmの小断層に分割してすべり分布を推定。
- ・ 黒コンターは1968年十勝沖地震のアスペリティ、赤コンターは平成6年（1994年）三陸はるか沖地震のアスペリティ（永井・他，2001）
- ・ 最大すべり量は約0.7mである
- ・ M_w は7.53である。 M_w の計算においては、剛性率を40 GPaと仮定した